

東北労働金庫「ろうきん地域貢献ファンド」 2008年度
Bコース（備品購入応援コース） 助成事業報告書

平成 21 年 4 月 24 日

団体名（ふりがな）	特定非営利活動法人 せんだいファミリーサポート・ネットワーク												
購入物品名	チャイルドシート、冷蔵庫												
連絡担当者お名前（ふりがな）	ほうじょうようこ 北 條 陽 子 ささきひろこ 佐々木浩子												
<p>■ 購入物品の活用状況</p> <p>みやぎ緊急サポートネットワーク事業では、病後児の預かり、緊急度の高い送迎や預かりを行っており、平成 20 年度の全活動件数の 765 件の中で、緊急度の高い預かりは 359 件、病児・病後児の預かりは 123 件であった（図表 1）。</p> <p style="text-align: center;">図表 1 活動件数</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>利用目的</th> <th>累計(件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病児・病後児の預かり</td> <td>123</td> </tr> <tr> <td>宿泊を伴う預かり</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>緊急度の高い預かり</td> <td>359</td> </tr> <tr> <td>送迎(緊急度の高いもの)</td> <td>282</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>765</td> </tr> </tbody> </table> <p>1. チャイルドシートの活用状況</p> <p>今回購入したチャイルドシート（3 台・写真）は、緊急度の高い送迎を担うサポートスタッフへ無償貸与を行って活用した。助成金獲得前は、サポートスタッフが自費購入や、寄付で頂いたチャイルドシートを利用して活動を行っており、経済性・安全性の面（年式の古いチャイルドシートの中には、今の安全性）で課題があった。サポートスタッフのチャイルドシートの貸与を受けたサポートスタッフの感想をまとめると次のとおりである。</p> <p>「自分で購入すると高額なため助かった」というように経済性の面で助かったという。子どもの預かりをするサポートスタッフは、子育てがひと段落した世代が多いため、（子育て家庭を）支援したい気持ちがあっても、自分の家庭で使用しないチャイルドシートを購入するまでには抵抗がある。</p>		利用目的	累計(件)	病児・病後児の預かり	123	宿泊を伴う預かり	1	緊急度の高い預かり	359	送迎(緊急度の高いもの)	282	合計	765
利用目的	累計(件)												
病児・病後児の預かり	123												
宿泊を伴う預かり	1												
緊急度の高い預かり	359												
送迎(緊急度の高いもの)	282												
合計	765												

しかし、保育所から自宅（利用会員宅やサポートスタッフ宅）までの距離が遠い場合も多く、車を使用できるサポートスタッフへの支援要望は高い。今回のチャイルドシート貸与によって、緊急度の高い送迎の活動件数の増加に一役買うことができたと思われる。

また、「車への取り付けが容易にできるので、利用しない時は、はずして保管ができる」というように、操作性の点で助かったという。

チャイルドシートは、一度車に取り付けてしまうと、座席1席分がとられてしまうが、今までのチャイルドシートは重く、女性1人で取り外しを容易に行うことが困難であった。サポートスタッフにとっては、貸与を受ける点で、取り外しの困難さも難点であったため、今回の助成によって、チャイルドシートを車につけて活動することに対し、サポートスタッフの心理的障害を取り除くことができたと思われる。



2. 冷蔵庫の活用状況

緊急サポートネットワーク事業では、子どもを預かるスタッフの自宅、又は、預かってもらう利用会員の自宅での預かりがほとんどであるが、事情により、お互いの家で預かることができない場合は、緊急サポートネットワーク事務局が在駐する「みやぎのちと人権リソースセンター」2F 託児室で預かりを行うこともある。保育所に入所すると、季節に関係なく風邪をひいたり、熱が出ることは多くみられる。今年度は、この託児室で20件の預かり保育を行ったが、ここでの預かりも病児や病後児の子どもがほとんどであった。

病後児や病児の預かりは、かぜによる発熱のための預かりが主となっているため、熱が出ているときにはアイスノンや氷で対応することが多い。今までは、別室の冷蔵庫に保管してあるアイスノンや氷を使用していたが、すぐに使用したいのに、2Fの託児室から1Fの冷蔵庫に取りに行く時間が気になっていた。また、この冷蔵庫は共用での使用であったため、水分補給のための飲み物や預かり児の昼食等、飲食物の保管管理の面からも託児室専用の冷蔵庫があることで改善された。



■今回の物品購入によって、団体の活動や地域社会にどのような成果・効果がありましたか

1. チャイルドシート

（サポートスタッフ・利用会員の立場から）

軽量で取り付け操作がしやすいチャイルドシートのため、サポートスタッフのチャイルドシートに対する不満解消に役立った。また、サポートスタッフと利用者共に、安全性能の高いチャイルドシートを取りつけることにより、安全面において安心感が高まったと思われる。

（法人の立場から）

チャイルドシートの貸出台数が増加したことにより、車での送迎を希望する利用者のニーズに対して、サポートスタッフへの働きかけや、ニーズへの対応がしやすくなった。

（地域社会に対して）

子育て中の両親が仕事と両立を行うために必要とされるものとして、子どもを日中保育する場所（保育所等）の整備に目を向けられることが多いが、送迎のニーズも高く、車がないと送迎できないケースも多いという点も明らかになったと思われる。そのニーズに対して、今後どのように支援していくかという問題提起ができたと思われる。

2. 冷蔵庫

（サポートスタッフ・利用会員の立場から）

子どもを保育する場所にすぐに冷蔵庫があり、安全面、衛生面の観点から安心感を持つことができた。

（法人の立場から）

利用者に安心感を持ってもらい、安全に託児をすることで、リスク対応ができたと思われる。

■今回購入した物品を活用して、今後、事業をどのように展開していきますか
また、その際に必要なものは何ですか

緊急サポートネットワーク事業の委託は今年度で終了したが、今後も子どもの緊急な預かりに対応できるような仕組みを作っていく努力は必要であると感じている。

購入したチャイルドシートは、（緊急サポートネットワーク事業で活動したサポートスタッフの中で）、今後も 21 世紀職業財団保育サポーター制度や仙台市すくすくサポート事業を利用しながら活動を継続していくスタッフに対して継続的な貸出を行うことにした。

緊急サポートネットワーク事業の廃止によって、病児や緊急に対応してくれる預け先の 1 つが無くなり、一番不便な思いをするのは利用会員であろう。事務局では、3 月の閉鎖までに希望する利用会員に対し、サポートスタッフとのマッチング作業を行い、利用者サポートスタッフとの関係は今後も続くケースもあると思われる。そのようなサポートスタッフに対し、物品の貸与をしながら支援を行っていきたいと考えている。

助成金の使途内訳

収入の部

項目	金額 (円)	内訳
ろうきん地域貢献ファンド助成金	87,200	
自己資金	0	
合計	87,200	

支出の部

項目	金額 (円)	内訳
チャイルドシート	56,700	3台
冷蔵庫	25,800	1台
差額返金	4,700	
合計	87,200	

<ろうきん>へのメッセージをどうぞ。

この度は、チャイルドシートと冷蔵庫購入に対しご助成を頂きまして、誠にありがとうございました。実際にお預かりしているときの子どもたちの様子等をお見せすることができずに大変申し訳なく思っていますが、おかげさまで子どもたちの安全をより良く確保するための物品を購入できました。ろうきん様の社会貢献活動により、多くの子育て家庭の生活を豊かにする活動を行うことができました。

今後の、益々のご発展をお祈りしています。